

3 人と環境にやさしい 交通体系・ 歩いて楽しい まちづくり

「人と人との交流による活気に満ちたまち」をめざします。

そのため、自動車依存型の交通体系を改善（自動車利用7割を6割に削減）し、
歩いて楽しいまちづくりをすすめます。

主な 計画事業



広小路ルネサンスの推進

ゆとりある歩行者空間の確保や商業活性化などにより、広小路通の歩く楽しさ・にぎわいを復興します。

このイメージ図は将来像のひとつです。

地下鉄（4号線・桜通線）の整備

地下鉄4号線（名古屋大学～新瑞橋）を平成16年度開業に向けて整備します。

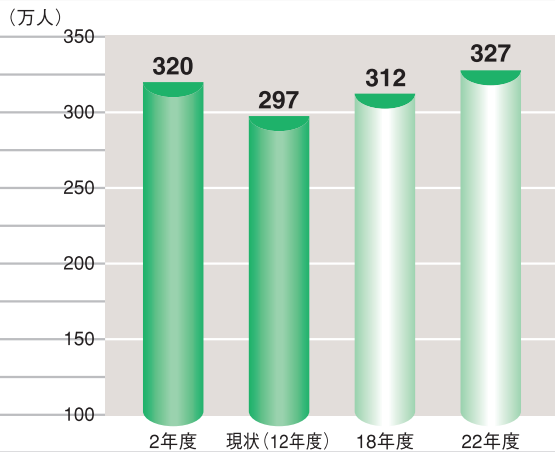
地下鉄桜通線（野並～徳重）を平成26年度開業に向けて整備します。



地下鉄4号線（名古屋大学駅付近）

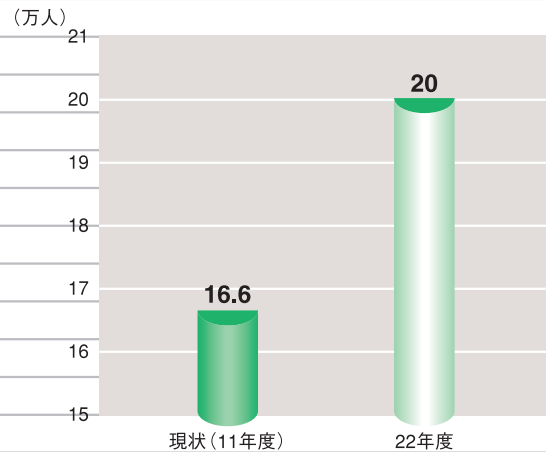
主な 数値目標

1日の公共交通機関の利用者数



公共交通の利用者数を現在より10%増加させることをめざします。

都心域の主要な通りにおける休日の歩行者数



名駅通、広小路通、大津通、久屋大通の歩行者数が20万人以上となることをめざします。



ETC(自動料金収受システム)

ITS(高度道路交通システム)の推進

情報通信技術の活用によって安全・快適な移動と環境保全をめざすITSの導入を拡大します。



清洲ジャンクション

都市高速道路の整備

沿道環境に配慮した整備を実施し、都市高速道路網の早期完成をめざします。

- 組合等による市街地再開発事業の促進
- 立体交差化の推進
- 自然環境などに配慮した道路の整備
- なごや交通戦略の推進
- 駐車場附置義務制度の改正
- 東部丘陵線の整備
- 西名古屋港線の整備
- 自転車駐車場の整備
- 中心市街地活性化の推進